

H16 年度浜松工業会 全国支部長会議の報告

平成 16 年 10 月 3 日

大阪奈良支部長 江川

日時：平成 16 年 9 月 25 日(土)午後 1 時から 2 時 24 分まで

場所：佐鳴会館ホール(静岡大学浜松キャンパス内)

構成：名誉会長、名誉副会長、会長、理事長他役員総数 4 2 名中出席者 2 9 名、欠席 1 3 名、

議題

議題に先立ち、中村理事長の司会の元、塩原会長の挨拶に続き、中村高遠名誉会長(工学部長)、南利明名誉副会長(情報学部長)の挨拶、中西副会長(次期工業会会長候補者)の挨拶の後、各支部長をはじめ本部役員の自己紹介で会議が始まった。

1. 支部活動の活性化対策について

- 支部活動報告書が各支部長からあらかじめ提出されており、全支部資料のコピーが配布された。

1. 活性化については特徴のある活動が紹介された。その中で他の学部同窓会との交流を実施していることを大阪奈良支部から紹介した。費用・会費の取決めをしておく方が良いとのコメントが出された。
2. 全学同窓会が発足したこともあり、今後学長の来賓も期待される旨の意見があった

- 支部ホームページについて

1. 浜松工業会本部ホームページの立上げに尽力されている情報学部の杉山教授の下で、実務を担当している本部情報学研究科の荒井さんから支部からの依頼があれば現地まで出向いて指導し、支部に定着していきたい旨の提案がなされた。
→大阪奈良支部のホームページ担当の千田幹事を紹介し、今後コンタクトし、指導してもらえることになった。

2. 本部への要望について

- 栃木支部から支部行事への本部からの資金支援増の要望が出された。
- 静岡支部からは本部として目立つことをやってほしい。本部の強い姿勢や広報発表の充実を願う声が出された。
→本部から広報の実情が紹介されたが、実情は浜松版や静岡版が多く、全国版までのニュースには結びついていないとのこと。

3. 会費の徴収について

- 本部より浜松工業会の財政健全化は会員の会費納入率を高めるより他に方法が見当たらない。今春 5 月末に各支部長に支部の未納者リストを送り協力を要請しているが、引き続き機会あるごとの対応を求められ、協力することになった。
- H16 年 1 月よりコンビニからの会費振込みを開始した結果、会費は前年度に比べ約 5 割増加した実績がある。さらにコンビニにまたは郵便局から振り込む場合、卒業後 20 年までの会員について 3000 円(会費 1 年分)を印字し、送付した。卒業後 21 年以

降の会員は従来どおり 15000 円（会費 5 年分）との報告があった。

4. 会員名簿の発行について

- 次回会員名簿発行について、経費増と個人情報の守秘管理特に名簿の流出懸念の観点から電子データとして本部事務局が管理、保存し、会員の要望に応じて必要な形式で配布送信するシステムに変更する案が提案された。
- 先の第 1 回理事会での検討を踏まえ、発行形態について会員の意見を伺うことになった。意見は名前、卒業年、学科、連絡先を明記の上、郵便、FAX、電子メールのいずれかで本部事務局に出してもらうことになった。

郵便：〒432-8561 浜松市城北 3-5-1 静岡大学工学部内 浜松工業会

FAX：053-473-3485

E メール：sanaru@sweet.ocn.ne.jp

5. 会員ネットワークの構築について

- 浜松工業会ホームページを立上げ、会員へのサービスを従事充実させているとの報告が、情報研究課の担当荒井さんからあった。
- 会員サービスの主なものは、データセキュリティの強化・動画コンテンツの配信準備・各種イベント、相談コーナー、母校活躍・佐鳴 Web 版と紙面ベースの佐鳴の連携・会員と在校生コミュニケーション等々
- 会員名簿についても同システムの中で、会員名簿の電子化・Web サーバーの補強・名簿の問い合わせシステムの構築していく
- 今後、支部活動活性化に向けて、各支部へ Web ページのホスティングや Web ページ作成講習会＋支部総会取材＋Web 化支援を実施していく。

6. リゾート施設（泉郷法人会員提携施設）の団体会員加入継続について

- 2003 年度、2004 年度（2003 年 10 月から 2004 年 9 月まで）の利用実績が計画目標未達の現状に照らし、団体加入は打ち切ることになった。利用実績は 2003 年度 400 人、2004 年度は 300 人。目標は 500 人。

7. 学生後援会との協力による静岡大学 PR 支援について

- 国立大学法人静岡大学が個性輝く大学になるために、教育・研究・社会貢献の面で独自の運営・活動を行うことが求められているが、積極的に大学の PR を行うことも重要であるとの認識に立ち、浜松工業会としても、各支部総会を利用して、在籍する学生の保護者にも参加を呼びかけ、静岡大学の説明と PR を行うとともに就職説明会を行いたいというもの。

1. 対象は工学部・情報学部在籍学生の保護者

2. 時期は浜松工業会各支部の総会時で当面は 4 大支部からはじめる。大阪奈良支部が対象支部となった。

3. 講師は各学部長・学科長・浜松工業会会長・理事長・各学科就職担当

4. 呼びかけは本部から、支部ではプログラムに組み込み、運用する。

- 提示された総会試案では、本案を盛り込んだプログラムを総会内で行うことを前提にすると総会は 2 時間必要とする。現行より 1 時間 30 分延長となる。支部総会の開催日、開催時間、運営そのものを再検討する必要があると考える。

8. その他

1. 財団法人「浜松科学技術研究振興会」の平成16年度事業計画について

以上